

3 経営状況

本年度の経営収支状況は、第4表 比較損益計算書(消費税抜)に示すとおりである。

総収益 955,338,106 円に対し、総費用 846,254,103 円で、109,084,003 円が当年度純利益となっている。

(1) 収 益

ア 営業収益 938,585,738 円(構成比率 98.25%)は、前年度に比べ 13,126,433 円(1.38%)の減少である。これは、その他の営業収益が 33,600 円(3.10%)増加したものの、給水収益が 13,160,033 円(1.38%)減少したことによるものである。

イ 営業外収益 16,752,368 円(構成比率 1.75%)は、前年度に比べ 429,741 円(2.63%)の増加である。これは、受取利息及び配当金が 416,696 円(110.59%)、雑収益が 13,045 円(0.08%)増加したことによるものである。

(2) 費 用

ア 営業費用 624,717,170 円(構成比率 73.82%)は、前年度に比べ 2,474,493 円(0.40%)の増加である。

これは、総係費 15,121,226 円(21.25%)、業務費 1,436,551 円(3.15%)及び原水及び浄水費が 191,198 円(0.16%)減少したが、資産減耗費 10,676,893 円(83.44%)、配水及び給水費 6,445,933 円(9.29%)及び減価償却費が 2,100,642 円(0.70%)増加したことによるものである。

イ 営業外費用 216,726,905 円(構成比率 25.61%)は、前年度に比べ 12,486,003 円(5.45%)の減少である。

これは、支払利息及び企業債取扱諸費 11,888,666 円(5.20%)、雑支出 485,105 円(皆減)及び賠償金が 112,232 円(皆減)減少したことによるものである。

ウ 費用の用途別状況は、次表1 費用用途別比較表に示すとおりである。

エ 費用の節別状況は、次表2 費用節別比較表に示すとおりである。

(3) 経営分析

ア 最近3か年間の経営状況は、次表3 経営分析表に示すとおりである。

イ 最近5か年間の経営収支状況は、次表4 経営状況の推移に示すとおりである。

(4) 平成18年度の敦賀市水道事業剰余金処分計算書(案)の当年度減債積立金 10,000,000 円、建設改良積立金 100,000,000 円及び翌年度繰越利益剰余金 3,074,832 円の処分計画は、妥当と認められる。

比較損益

第4表

科 目	借		方		前年度比較	
	18年度	17年度	構 成 比 率		増減額	増減率
			18年度	17年度		
営 業 費 用	624,717,170	622,242,677	73.82	72.87	2,474,493	0.40
(1) 原水及び浄水費	122,950,437	123,141,635	14.53	14.42	△ 191,198	△ 0.16
(2) 配水及び給水費	75,824,976	69,379,043	8.96	8.13	6,445,933	9.29
(3) 受託工事費	0	0	—	—	—	—
(4) 業 務 費	44,161,338	45,597,889	5.22	5.34	△ 1,436,551	△ 3.15
(5) 総 係 費	56,023,286	71,144,512	6.62	8.33	△ 15,121,226	△ 21.25
(6) 減価償却費	302,284,492	300,183,850	35.72	35.15	2,100,642	0.70
(7) 資産減耗費	23,472,641	12,795,748	2.77	1.50	10,676,893	83.44
(8) その他の 営業費用	0	0	—	—	—	—
営 業 外 費 用	216,726,905	229,212,908	25.61	26.84	△ 12,486,003	△ 5.45
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	216,726,905	228,615,571	25.61	26.77	△ 11,888,666	△ 5.20
(2) 雑 支 出	0	485,105	—	0.06	△ 485,105	皆減
(3) 賠 償 金	0	112,232	—	0.01	△ 112,232	皆減
特 別 損 失	4,810,028	2,447,642	0.57	0.29	2,362,386	96.52
(1) 過年度損益 修正損	4,810,028	2,447,642	0.57	0.29	2,362,386	96.52
費 用 計	846,254,103	853,903,227	100.00	100.00	△ 7,649,124	△ 0.90
当 年 度 純 利 益	109,084,003	114,131,571			△ 5,047,568	△ 4.42
合 計	955,338,106	968,034,798			△ 12,696,692	△ 1.31

計 算 書

(単位：円・%)

科 目	貸		方		前年度比較	
	18年度	17年度	構 成 比 率		増減額	増減率
			18年度	17年度		
営 業 収 益	938,585,738	951,712,171	98.25	98.31	△ 13,126,433	△ 1.38
(1) 給 水 収 益	937,469,238	950,629,271	98.13	98.20	△ 13,160,033	△ 1.38
(2) 受 託 工 事 収 益	0	0	—	—	—	—
(3) そ の 他 の 営 業 収 益	1,116,500	1,082,900	0.12	0.11	33,600	3.10
営 業 外 収 益	16,752,368	16,322,627	1.75	1.69	429,741	2.63
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	793,497	376,801	0.08	0.04	416,696	110.59
(2) 雑 収 益	15,958,871	15,945,826	1.67	1.65	13,045	0.08
(3) 補 助 金	0	0	—	—	—	—
収 益 計	955,338,106	968,034,798	100.00	100.00	△ 12,696,692	△ 1.31
合 計	955,338,106	968,034,798			△ 12,696,692	△ 1.31

費 用 使 途

次表 1

科 目	人 件 費						物 件 費	
	18年度	17年度	構成比率		前年度比較		18年度	17年度
			18年度	17年度	増減額	増減率		
営 業 費 用	102,492,765	102,319,618	100.00	100.00	173,147	0.17	522,224,405	519,923,059
原水及び浄水費	18,260,640	17,071,344	17.82	16.69	1,189,296	6.97	104,689,797	106,070,291
配水及び給水費	17,160,113	17,413,732	16.74	17.02	△ 253,619	△ 1.46	58,664,863	51,965,311
受託工事費	0	0	—	—	—	—	0	0
業 務 費	25,966,986	25,706,026	25.34	25.12	260,960	1.02	18,194,352	19,891,863
総 係 費	41,105,026	42,128,516	40.10	41.17	△ 1,023,490	△ 2.43	14,918,260	29,015,996
減価償却費	0	0	—	—	—	—	302,284,492	300,183,850
資産減耗費	0	0	—	—	—	—	23,472,641	12,795,748
その他の 営業費用	0	0	—	—	—	—	0	0
営 業 外 費 用	0	0	—	—	—	—	216,726,905	229,212,908
支払利息及び 企業債取扱諸費	0	0	—	—	—	—	216,726,905	228,615,571
雑 支 出	0	0	—	—	—	—	0	485,105
賠 償 金	0	0	—	—	—	—	0	112,232
特 別 損 失	0	0	—	—	—	—	4,810,028	2,447,642
過年度損益 修正損	0	0	—	—	—	—	4,810,028	2,447,642
合 計	102,492,765	102,319,618	100.00	100.00	173,147	0.17	743,761,338	751,583,609

別 比 較 表

(単位：円・%)

・ そ の 他 の 経 費				合 計					
構成比率		前年度比較		18年度	17年度	構成比率		前年度比較	
18年度	17年度	増減額	増減率			18年度	17年度	増減額	増減率
70.21	69.18	2,301,346	0.44	624,717,170	622,242,677	73.82	72.87	2,474,493	0.40
14.07	14.11	△ 1,380,494	△ 1.30	122,950,437	123,141,635	14.53	14.42	△ 191,198	△ 0.16
7.89	6.92	6,699,552	12.89	75,824,976	69,379,043	8.96	8.13	6,445,933	9.29
—	—	—	—	0	0	—	—	—	—
2.45	2.65	△ 1,697,511	△ 8.53	44,161,338	45,597,889	5.22	5.34	△ 1,436,551	△ 3.15
2.00	3.86	△ 14,097,736	△ 48.59	56,023,286	71,144,512	6.62	8.33	△ 15,121,226	△ 21.25
40.64	39.94	2,100,642	0.70	302,284,492	300,183,850	35.72	35.15	2,100,642	0.70
3.16	1.70	10,676,893	83.44	23,472,641	12,795,748	2.77	1.50	10,676,893	83.44
—	—	—	—	0	0	—	—	—	—
29.14	30.50	△ 12,486,003	△ 5.45	216,726,905	229,212,908	25.61	26.84	△ 12,486,003	△ 5.45
29.14	30.42	△ 11,888,666	△ 5.20	216,726,905	228,615,571	25.61	26.77	△ 11,888,666	△ 5.20
—	0.06	△ 485,105	皆減	0	485,105	—	0.06	△ 485,105	皆減
—	0.02	△ 112,232	皆減	0	112,232	—	0.01	△ 112,232	皆減
0.65	0.32	2,362,386	96.52	4,810,028	2,447,642	0.57	0.29	2,362,386	96.52
0.65	0.32	2,362,386	96.52	4,810,028	2,447,642	0.57	0.29	2,362,386	96.52
100.00	100.00	△ 7,822,271	△ 1.04	846,254,103	853,903,227	100.00	100.00	△ 7,649,124	△ 0.90

費用節別

次表2

科目	18年度	17年度	構成比率		前年度比較	
			18年度	17年度	増減額	増減率
人件費	102,492,765	102,319,618	12.11	11.98	173,147	0.17
直接人件費	85,815,373	84,753,066	10.14	9.92	1,062,307	1.25
給料	48,123,970	48,486,800	5.69	5.68	△ 362,830	△ 0.75
手当等	37,691,403	36,266,266	4.45	4.24	1,425,137	3.93
間接人件費	16,677,392	17,566,552	1.97	2.06	△ 889,160	△ 5.06
賃金	1,953,625	3,401,875	0.23	0.40	△ 1,448,250	△ 42.57
退職給与金	49,995	31,515	0.01	0.00	18,480	58.64
法定福利費	14,673,772	14,133,162	1.73	1.66	540,610	3.83
物件費・その他の経費	743,761,338	751,583,609	87.89	88.02	△ 7,822,271	△ 1.04
賃金	0	0	—	—	—	—
報償費	95,100	115,450	0.01	0.01	△ 20,350	△ 17.63
旅費	75,848	50,343	0.01	0.01	25,505	50.66
備消耗品費	1,156,681	1,583,826	0.14	0.19	△ 427,145	△ 26.97
燃料費	818,256	897,287	0.10	0.11	△ 79,031	△ 8.81
印刷製本費	1,512,180	1,629,775	0.18	0.19	△ 117,595	△ 7.22
通信運搬費	8,274,033	9,706,811	0.98	1.14	△ 1,432,778	△ 14.76
委託料	31,305,015	46,039,963	3.70	5.39	△ 14,734,948	△ 32.00
手数料	8,827,184	9,519,681	1.04	1.11	△ 692,497	△ 7.27
賃借料	3,193,969	3,527,064	0.38	0.41	△ 333,095	△ 9.44

比較表

(単位：円・%)

科目	18年度	17年度	構成比率		前年度比較	
			18年度	17年度	増減額	増減率
修繕費	38,185,514	41,534,101	4.51	4.86	△ 3,348,587	△ 8.06
食糧費	0	2,229	—	0.00	△ 2,229	皆減
動力費	84,680,736	84,093,544	10.01	9.85	587,192	0.70
薬品費	905,674	812,296	0.11	0.10	93,378	11.50
材料費	1,612,317	1,493,362	0.19	0.18	118,955	7.97
工事請負費	14,700,000	3,600,000	1.74	0.42	11,100,000	308.33
会費負担金	381,052	359,904	0.04	0.04	21,148	5.88
保険料	640,313	1,868,325	0.07	0.22	△ 1,228,012	△ 65.73
公課費	103,400	109,500	0.01	0.01	△ 6,100	△ 5.57
補償金	0	0	—	—	—	—
有形固定資産減価償却費	302,284,492	300,183,850	35.72	35.15	2,100,642	0.70
資産減耗費	23,472,641	12,795,748	2.77	1.50	10,676,893	83.44
材料売却原価	0	0	—	—	—	—
企業債利息	216,726,905	228,615,571	25.61	26.77	△ 11,888,666	△ 5.20
一時借入金利息及び企業債取扱手数料	0	0	—	—	—	—
過年度損益修正	4,810,028	2,447,642	0.57	0.29	2,362,386	96.52
負担金補助金及び交付金	0	0	—	—	—	—
その他雑支出	0	485,105	—	0.06	△ 485,105	皆減
賠償金	0	112,232	—	0.01	△ 112,232	皆減
合計	846,254,103	853,903,227	100.00	100.00	△ 7,649,124	△ 0.90

經 營 分

次表 3

分析項目		算 式
構成比率	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$ (総資産=固定資産+流動資産+繰延勘定)
	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$ $\left(\frac{\text{自己資本}=\text{自己資本金}+\text{剰余金}}{\text{総資本}=\text{資本}+\text{負債}} \right)$
財政比率	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
	酸性試験比率	$\frac{\text{現金預金}+\text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$
	現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期末自己資本}+\text{期首自己資本}) \div 2}$ $\left(\begin{array}{l} \text{営業収益=} \\ \text{営業収益}-\text{受託工事収益} \end{array} \right)$
	固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期末固定資産}+\text{期首固定資産}) \div 2}$ (固定資産=固定資産-建設仮勘定)
	減価償却率	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末償却資産}+\text{当年度減価償却費}}$ $\left(\begin{array}{l} \text{期末償却資産}=\text{有形固定資産}+ \\ \text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定} \end{array} \right)$
	流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期末流動資産}+\text{期首流動資産}) \div 2}$
	未収金回転率	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期末未収金}+\text{期首未収金}) \div 2}$

析 表

単 位	比 較			説 明
	18年度	17年度	16年度	
%	93.93	93.98	94.37	固定資産と資産総額との割合を表わすもので、この比率の高いことは公営企業の特徴であるが、低いほうが望ましい。
%	49.95	48.59	47.11	自己資本と総資本との割合を表わすものでこの比率の高いほうが望ましい。
%	188.05	193.42	200.35	固定資産と自己資本との割合で資本固定化の程度を表わすものであって、100パーセント以下であることが望ましい。
%	800.99	556.80	452.75	流動資産と流動負債との割合で、流動負債の支払能力の程度を表わす比率であって、200パーセント以上であることが望ましい。
%	795.56	555.06	450.59	当座資産と流動負債との割合で、流動負債の支払能力の程度を表わす比率であって、100パーセント以上であることが望ましい。
%	565.04	427.94	333.22	現金預金と流動負債との割合で、流動負債の支払能力の程度を表わす比率であって、20パーセント以上であることが望ましい。
回	0.14	0.15	0.15	自己資本の利用度を表わすもので、原則として回転率の高いことが必要である。
回	0.07	0.08	0.08	固定資産の利用度を表わすもので、収益性の観点からは回転率の高いほうがよいが、健全性の上からいえば回転率のあまり高いのはよくない。
回	0.02	0.02	0.02	固定資産の償却率を表わすものである。
回	1.16	1.24	1.18	流動資産の使用、利用度を表わすものである。
回	4.50	5.10	5.15	未収金の回転度（回収率）を表わすものである。

分析項目		算式
収益率	総資本利益率	$\frac{\text{当年度純利益（純損失）}}{\text{（期末総資本+期首総資本）} \div 2} \times 100$
	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
その他の	利子負担率	$\frac{\text{支払利息+企業債発行差金償却額}}{\text{〔（期末借入金+期末借入資本金）+（期首借入金+期首借入資本金）〕} \div 2} \times 100$
	企業債償還元金対減価償却額比率	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$
	企業債償還元金対料金収入比率	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$ （料金収入＝給水収益）
	企業債利息対料金収入比率	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$
	企業債元利償還元金対料金収入比率	$\frac{\text{企業債元利償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
	職員給与費対料金収入比率	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$

単 位	比 較			説 明
	18年度	17年度	16年度	
%	0.82	0.87	0.63	当期の純利益（純損失）と総資本との割合で、企業全体（総資本）の収益性を表わすものである。
%	112.89	113.37	109.53	当期の総収益と総費用との割合で、営業活動の能率を表わすものであって、この比率の高いほうが望ましい。
%	113.54	113.69	109.77	当期の経常収益に対する経常利益（経常収益－経常費用）の割合を示すものである。
%	150.24	152.95	150.33	当期の営業収益と営業費用との割合で、営業活動の能率を表わすものであって、この比率の高いほうが望ましい。
%	3.26	3.41	3.59	支払利息と負債との割合を表わすもので、この比率の低いことが望ましい。
%	101.49	125.56	96.05	企業債償還元金とその償還財源に充当すべき減価償却費との割合を表わすもので、この比率の低いことが望ましい。
%	32.73	39.65	29.70	企業債償還元金と料金収入との割合を表わすもので、この比率の低いことが望ましい。
%	23.12	24.05	26.16	企業債利息と料金収入との割合を表わすもので、この比率の低いことが望ましい。
%	55.84	63.70	55.86	企業債元利償還金と料金収入との割合を表わすもので、この比率の低いことが望ましい。
%	10.93	10.76	11.77	職員給与費と水道使用料収入との割合を表わすもので、業種によって一様ではないが、健全性の上からは30%以下でなければならない。